

週替わりで一息！

第2012回例会（第23版）

今回の二四節季・七二候（にじゅうしせつきしちじゅうにこう）

大雪(たいせつ) (本格的に冬が到来するころ。山々は雪に覆われ、平野にも雪が降り積もります。動物たちは冬ごもりに入り木々は葉を落とし、見えなかった景色を見せてくれる。新しい地誌の準備を始める「正月事始め」もこの時期からおこなわれます)

末候「十二月十六日～十二月二一日」**鰻魚群(けつぎょ{さけのうお}**

むらがる) 63 「鮭が群がり川を上る」 鰻魚群と書いて、さけのうおむらがるといいます。鮭が群れをなして川を上っていく頃をいいます。鮭の遡上(そじょうとは流れをさかのぼっていく事)は9月に始まり1月中旬まで続きますが、何故、12月中旬にこの時候を持ってきたのでしょうかね！ 鮭は、冬に川で生まれ、春になると稚魚が川を下り、アラスカ沖で育ち、4年後に1万数千kmもの長い旅をして、産卵のために産まれた川に戻ってきます。
(参考文献・びお)

10年前の主なニュース (2005年12月19日～12月25日)

- ・人工初の自然減・2005年の人口動態統計により、日本の人口が自然減したことが確定。これは現行の統計を取り始めた1899年以来で初のことである。現在の日本の総人口は近年横ばいであるが、日本人の数は減少している。
- ・美浜3号の運転再開、現在は定期点検中。電力会社として初めて原子力炉の運転をし、日本万国博覧会の会場に約1万kwを試送電した1号機は今年廃炉へ。

「本日12月11日の金曜日」の卓話！「自然と人間のかかわり」ハウスアムメーア森岡千代子氏



12月10日被選理事会(細則第1条第2節)グランディア芳泉で実施

本日もお疲れ様でした。



次期会長

次期幹事

